

## 時代の最先端 府中インテリジェントパーク

ご存知ですか皆さん、日鋼町というまちを。そこにある府中インテリジェントパークを。今回現地を訪ね、「インテリジェントパークまちづくり協議会」事務局でお話をお聞きし、地域冷暖房設備を見学させていただきました。



インテリジェントパークのシンボル「Jタワー」

この場所にはかつて日本製鋼所東京事業所の工場があり、戦前・戦中は大砲などの軍需製品を、戦後はパワーショベルなどの建設機械を製造していました。しかし需要の減少により、1985年(昭和60年)に工場が閉鎖され、約18万平方メートルの広大な敷地が再開発されることになりました。

「大型工場から、情報が集まる府中市における中心的な存在への転換」という府中インテリジェントパーク計画が立ち上げられ、府中市の考えとも合致して推進されました。

1989年(平成元年)に日本銀行がパーク内に支社設立を決定し、その後大手金融機関の進出が決まりました。計画施設としては、最先端の設備を有する先進のオフィス群、研究開発型施設等の誘致を行い、さらに「郊外型新業務拠点」として位置付けられたこれらの施設には、高度な情報通信機能等も付加され、全体がインテリジェントシティとして開発されました。

また「府中市の都市軸に沿って緑のネットワークを拡充する」「培われてきた既存の緑を生かし、地域環境の再生

を図る」[知的集約型新業務地にふさわしい先進的な環境を創出する]



地下専用溝内の配管

を基本テーマとして、道路と一体となった公開緑地を設け、街路樹を配し美しい歩行空間を作り、緑で結ばれたまちづくりを実現することも目標とされました。

特徴的なインフラとしては、地域冷暖房施設、中水道施設、電力と通信施設などがあげられます。各事業ビルの熱負荷密度も高いことから、都市防災・省エネルギー並びにスペースの有効利用等を目的としています。今回は、集中管理されている地域冷暖房施設・中水道施設を見学させていただきました。

この施設には多数の最新式冷温水発生器、冷凍機が並び、8,000トンの容量の冷水・温水貯水槽があります。各事業所へは、熱媒体として6℃の冷水と47℃の温水を地下専用溝に敷設された巨大な4本の往管・還管で供給しています。一方、中水道施設は、各ブロックの建物から排出される雑用排水を地下施設に集め、冷却ブロー水と合わせて浄化処理して加圧送水し、各ビルの水洗トイレの洗浄水などに再利用するというもので、エコに最大限配慮しています。

さらに電力は、東京電力府中変電所を経由して直接供給され、バックアップ機能を持つ特別な受電方式により良質で信頼の高い電力が確保されているそうです。そのため府中インテリジェントパークに電柱は一本もありません。

まちづくりの特徴としては、歩道が広い、街路樹には240本のプラタナス、路上駐車禁止、各ビルに駐輪場を設ける、建物の高さや色の制限、夜のネオン禁止、さらに緑溢れるまちづくりの徹底などがあげられます。

現在までに大型商業施設として家電量販店、ホームセンターが1998年(平成10年)から順次開業しています。

「Jタワー」は地上18階、地下2階で、屋上には救急ヘリ用のホバリングスペースが設置されています。事務所ゾーンには計30数社の多種多様な企業が入っています。また低層棟には、郵便局・クリニック・薬局・コンビニ・レストランなどがあります。インテリジェントパークで働く昼間人口は約1万人ということでした。

私たちが訪ねたのは、快晴の昼どき。中央のすずかけ公園には多くのビジネススーツの若い人々が行き来したり休んだりして、府中駅周辺の商業区域とはまた違った雰囲気でした。一度出かけてみてはいかがでしょうか。

(記・渡邊繁雄)



市民の集うすずかけ公園

**編集後記** ご覧の通り、この第56号から紙面がフルカラー版になり、細かな文字や写真も綺麗な印刷で多様な表現が出来るようになりました。これを契機に生涯学習に関わる情報発信機能をさらに高めるべく、記事の内容についても一層の充実を図りたいと思います。ご期待ください。(SK記)

**企画・編集:** 府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」

**共同発行:** 府中市文化スポーツ部生涯学習スポーツ課

ふちゅう生涯学習センター共同事業体

**府中市生涯学習センター** 〒183-0001 府中市浅間町 1-7

TEL: 042-336-5700 <http://fuchu.shogaigakushu.jp/>